

平成 28 年度  
教科に関する科目  
図画工作

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は2問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1問につき1枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号，氏名を解答用紙の指定された欄に2枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問1 次の図の作品について、(1)～(4)の問題に答えなさい。



- (1) 図の作品の制作に関わった浮世絵師と共に浮世絵に風景画のジャンルを確立したとされる浮世絵師名を答えなさい。
- (2) 図の作品の制作に関わった絵師と同時期に活動した浮世絵師で、特に美人画のジャンルに秀でて「美人大首絵」のスタイルを確立した浮世絵師名①と、わずか10か月ほどの実作期間に役者の個性や迫力をよく反映した斬新な大首絵を多数制作した浮世絵師名②を答えなさい。
- (3) 図の作品を含む浮世絵の制作工程・流通の特徴を記述しなさい。また、同時代の庶民が浮世絵をどのような機能を持ったものとして受容したか記述しなさい。
- (4) 19世紀後半から、浮世絵などの日本美術が西欧の芸術に与えた影響を指す用語の名称を答えなさい。さらにその影響の特徴について、影響を受けた西欧の芸術家名にも触れながら記述しなさい。

問2 次の図はある染色工芸家によって制作された屏風である。この作品について、(1)～(4)の問題に答えなさい。



- (1) この作品を制作した作家の氏名を答えなさい。
- (2) 作者は、ある伝統工芸（染色技法）に多大な影響を受けて創作活動を行った。図の作品にも影響が見られるその伝統工芸について、地域と伝統工芸の名称をそれぞれ答えなさい。
- (3) 作者は、美術にかかわる生活文化運動に作家として参画したことが知られている。この運動の名称は何か、また、宗教哲学者でこの運動の中心となった人物の氏名を答えなさい。
- (4) (3)の運動はどのような価値観に基づいていたか、運動を起こした社会背景と、何を尊んだけが明らかになるように簡潔に記述しなさい。